



通学合宿で「歴史探索」

▶南陵塾通学合宿

7月6日、NPO法人南陵塾による今年で9回目の通学合宿に、鞍手町の小学生20人が参加しました。今回初めて、鞍手町の文化遺産を巡り、いわれや歴史を学ぶ「歴史探索」を体験学習の1つとして実施。この日は中山不動尊、熱田宮、高木薬師、長谷観音を巡りました。本来は特定の日にしかお披露目していないという像なども、「子どもたちのためならば」という地域ボランティア、文化財管理者のみなさんの熱い思いによって間近で見ることが実現され、子どもたちは大喜び。鞍手の歴史を肌で感じられる貴重な体験となったようです。



友だちたくさんできたかな？

▶子ども会野外生活リーダー研修

7月5日から6日にかけて、宗像市の玄海少年自然の家で、子ども会野外生活リーダー研修が行われました。町内の小学4年生から6年生のうち73人が参加。9グループに分かれリーダーとしての資質を向上させながら2日間にわたり、野外調理、キャンプファイヤー、子どもフェスタの企画会議などのプログラムに取り組みました。この2日間さまざまな内容に一生懸命の子どもたちは時間がたつのも忘れていたようでした。また、今年8月31日に行われる子どもフェスタには34人の子どもたちが実行委員として活躍します。これからも地域のリーダーとしての頑張りを期待しています。



七夕に願いを込めて

▶町立保育所園児の七夕飾り

7月の風物詩「七夕飾り」。町内のあちこちで七夕飾りを見かけたのではないのでしょうか。これは、町立保育所の園児たちが一生懸命に作ったもので、町内の施設な



どに贈られたものです。7月7日、役場にも七夕飾りが届けられました。願い事の中には「もっと速く走れるようになりたい」、「アナと雪の女王のアナになりたい」などかわいい夢がたくさん。みんなの願いが叶うといいですね。

踊りの上手なこぶとりじいさん

▶地域子育て支援行事

家庭や保育所、幼稚園などで知ることが多い昔話。子どもたちにとって、絵本を読んだり、話を聞くだけでは分からないこともあるはず。7月6日、町立保育所の地域子育て支援行事で、劇団バクによる「こぶとりじいさん」の劇がありました。



登場人物のおじいさんやおばあさん、さらには鬼やへびまで歌って踊る楽しい劇に、子どももおとなも見入っていました。参加者全員が楽しめるひとときになったようです。

食育体験は大豆の種まきから

▶古月小学校と西川小学校の3年生がチャレンジ

毎年恒例となった大豆の種まき。7月14日は古月小の3年生の児童が、学校菜園で大豆の種まきを行いました。今年で9年目を迎えるこの事業は、食育の活動に取り組む鞍手町農業女性の会の皆さんの協力のもと行われているものです。児童たちは女性の会の指導のもと手際よく種をまき、土を被せていきました。



また、7月16日には西川小の3年生の児童も大豆の種まきを行いました。こちらは連日の雨により、予定していた畑での種まきはできませんでしたが、児童たちは楽しそうに鉢などに種をまいていました。これから8月には紫色の花を咲かせ、10月には枝豆の収穫を行い販売を行う予定です。また、児童たちは大豆を使った豆腐作りや味噌汁作りなどにも挑戦し、大豆を通して様々なことを学びます。

すくすく日記

8月生まれ

Happy birthday to you.



まつおこうせい 松尾昂星くん

平成24年8月7日生まれ

昂星くん、2歳のお誕生日おめでとう!! 最近は踊ったり、おしゃべりしたり、面白い顔をしたりといつも笑わせてもらっています。これからも元気にのびのび育ててね!!(父 裕也さん、母 理恵さん・小牧)



お待ちしております

広報「すくすく日記」のコーナーでは、発行月に誕生日を迎える満3歳までのちびっ子を募集しています。9月生まれは、8月11日(月)までに役場政策推進課 ☎42局2111番へお申し込みください。

ぬくもりのある人権のまちづくり

▶同和問題啓発強調月間

7月22日、中央公民館で子どもの学び館代表取締役の福永宅司さんによる、「ぬくもりのある人権のまちづくり」と題した講演会が行われました。この講演会は、人権問題に関する正しい理解と認識を深めるためのものです。「他人と比較されて元気になる人はいない、比較して良いのは過去の自分と今の自分だけ」「誰だって、あの頃と比べて成長したねと言われるだけで嬉しくなり自分のことを誇りに思えるようになる」と自尊感情の大切さを訴える福永さん。自分自身が幸せに生きるためにも、共に人生を歩んでいる人を勇気づけることが大切で、それこそが「ぬくもりのある人権のまちづくり」になるのではという言葉に、会場を訪れた百人を超える参加者たちも、日頃の自分のあり方を考え直させられていたようです。

